

2020年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2020年1月28日

栄研化学株式会社

(証券コード: 4549)

2020年3月期 第3四半期累計 連結業績

(百万円)

	2020年3月期			通期		
	第3四半期累計		対前年同期増減	業績予想 (修正後)※	進捗率	
	実績	構成比				
売上高	28,028	100.0%	960	103.6%	36,800	76.2%
(うち海外向け売上高)	5,242	18.7%	1,033	124.6%	7,400	70.8%
営業利益	4,349	15.5%	70	101.7%	4,350	100.0%
経常利益	4,420	15.8%	79	101.8%	4,450	99.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,335	11.9%	103	103.2%	3,400	98.1%

【売上高】

海外向けの便潜血検査用試薬、尿検査用試薬・装置を中心に売上が増加

【営業利益】

販売費及び一般管理費が研究開発費を中心に増加したものの、増収に伴う利益の増加により、前年同期比1.7%増

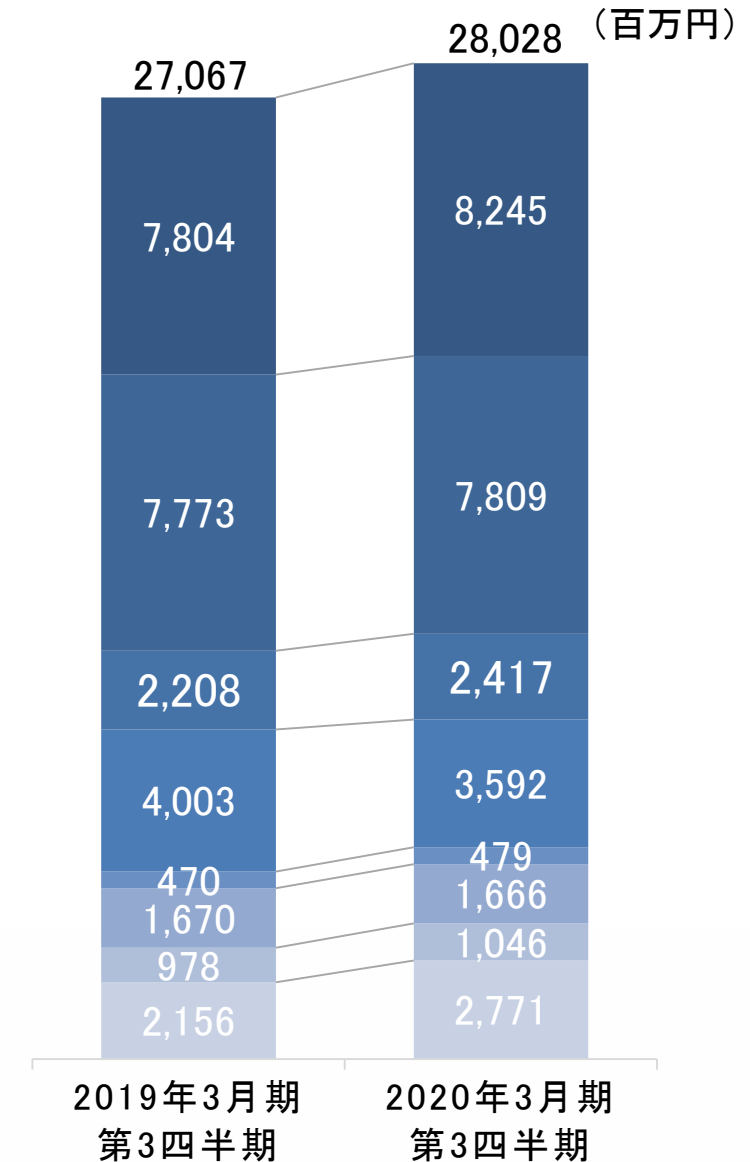
※ 業績予想の修正(1月28日公表)については、こちらをご覧ください。<http://www.eiken.co.jp/news/pdf/20200128-1.pdf>



■セグメント別売上高

便潜血検査用試薬、尿検査用試薬等の自社製品売上が好調
 医療機器は、海外向け尿検査用装置等の売上が増加
 微生物検査用試薬は、培地の売上が減少

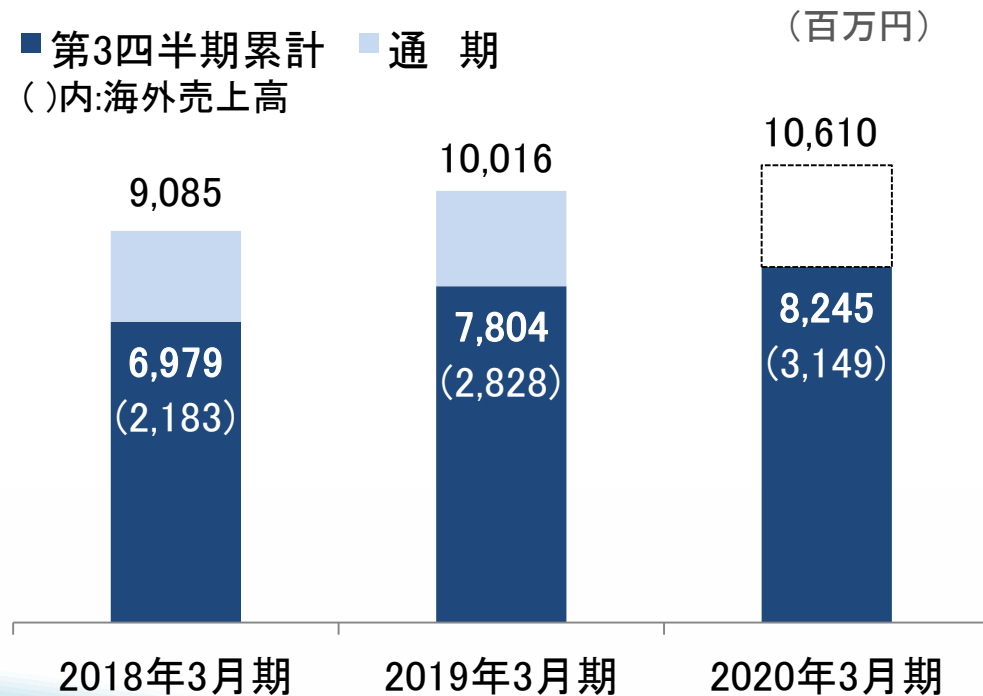
	(百万円)		
	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	前期比
便潜血検査用試薬	7,804	8,245	105.6%
免疫血清検査用試薬 (便潜血検査用試薬除く)	7,773	7,809	100.5%
尿検査用試薬	2,208	2,417	109.5%
微生物検査用試薬	4,003	3,592	89.7%
生化学的検査用試薬	470	479	101.9%
器具・食品環境関連培地	1,670	1,666	99.8%
遺伝子関連(装置含む)	978	1,046	106.9%
医療機器関連(遺伝子以外)・ その他	2,156	2,771	128.5%
合計	27,067	28,028	103.6%



■セグメント別売上高 — 便潜血検査用試薬

国内、海外ともに売上が増加

- 国内 他社切替の推進、大腸がん検診受診率アップのための啓発活動
- 海外 UK及び北米における売上が堅調に推移
米ガイドライン年齢引下げ(ACS、USPS-Task Force)対象者への啓発強化



当社の収益の主力 国内シェアは60%以上 ※



OC-ヘモ イオトⅢ・採便容器

大腸がん検診に用いられる検査用試薬(OC)
国内外で大腸がんの早期発見に貢献

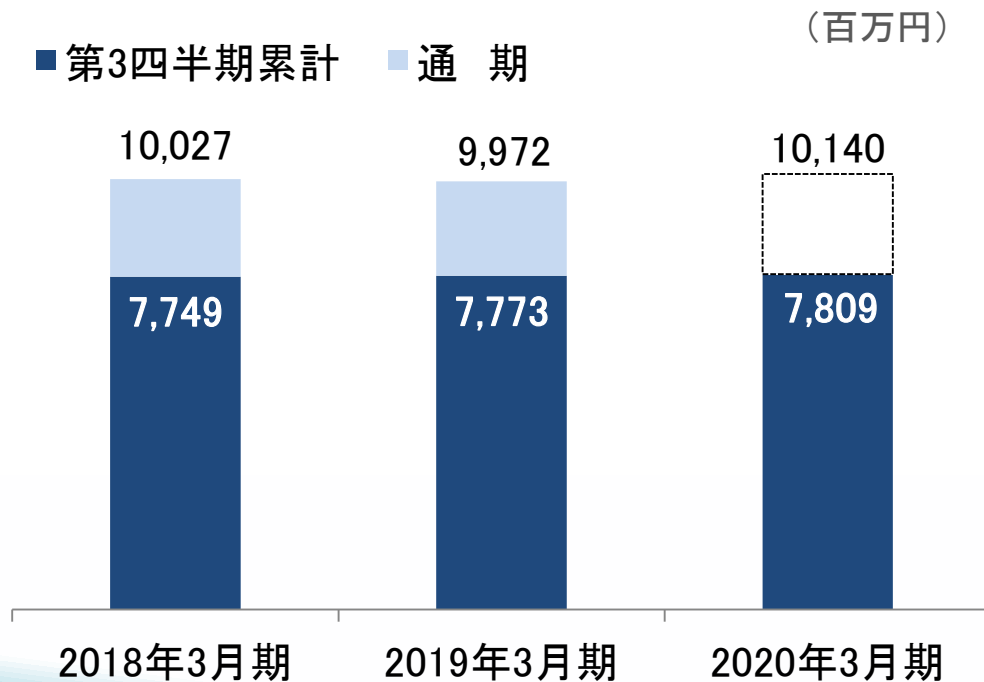
※資料:富士経済「2019臨床検査市場」

■セグメント別売上高 — 免疫血清検査用試薬

AIA関連試薬、ラテックス製品ともに売上が増加

○AIA関連試薬 ヘモグロビンA1cの新規導入により売上増加
 (東ソー導入品) オートタキシン(肝繊維化マーカー)等の販売促進

○ラテックス製品 LZ試薬(FER、MMP3等)の売上増加



AIA製品(東ソー株)およびLZ試薬等の自社製品



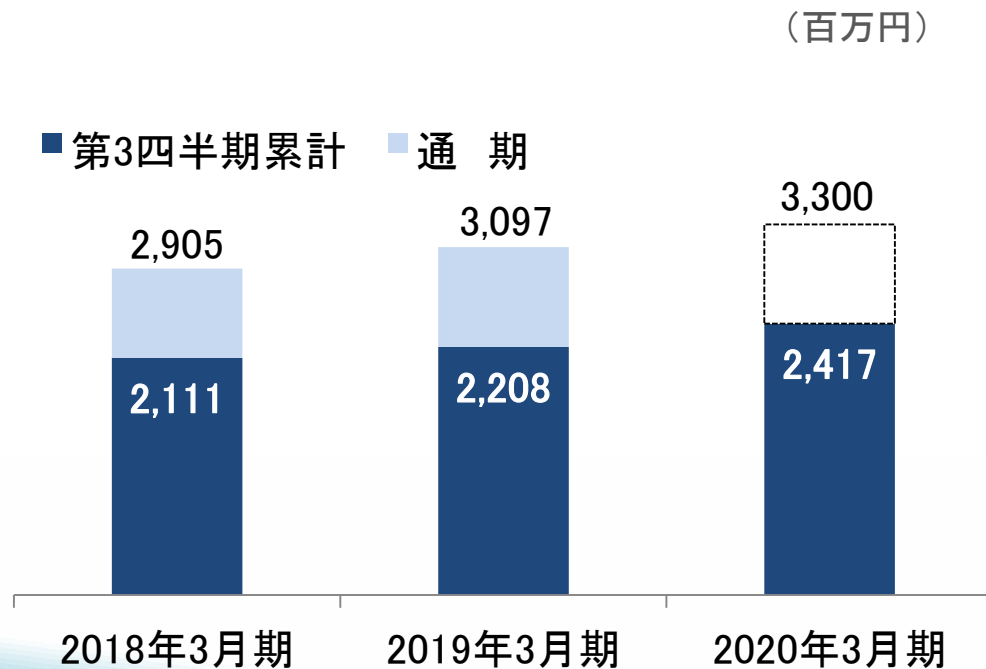
LZテスト‘栄研’

感染症やリウマチの検査、ホルモンの測定、胃がんリスク層別化検査などに使用する各種検査用試薬

■ セグメント別売上高 — 尿検査用試薬

国内、海外とも尿試験紙の売上が増加

- 国内 医療施設への「US-3500」と尿沈査機器との組み合わせ提案により新規採用拡大
- 海外 シスメックス(株)向け販売が堅調に推移



海外の販売は2017年よりシスメックス(株)と協業



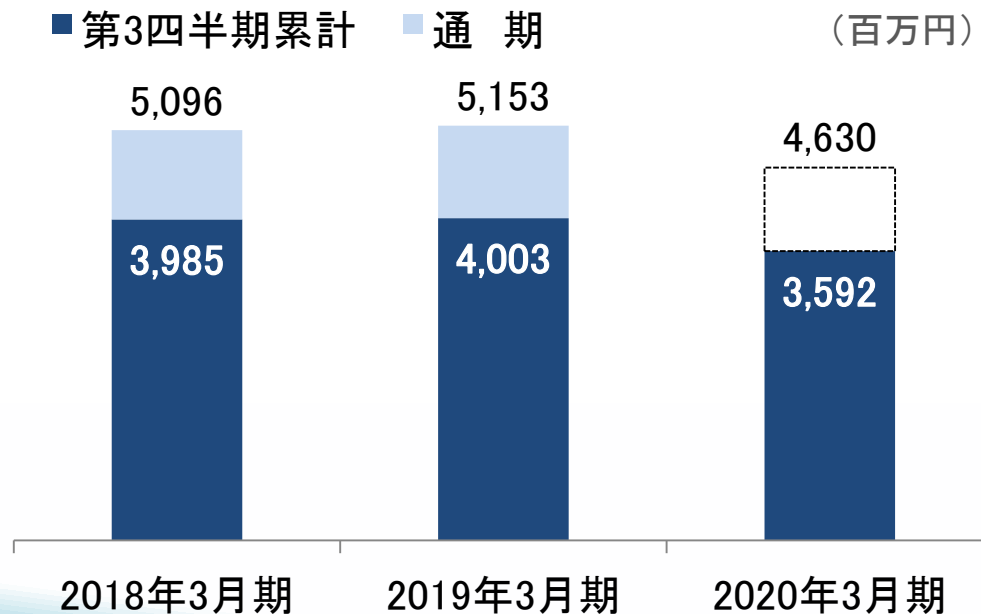
ウロペーパーαⅢ ‘栄研’

尿中の潜血、たんぱく質、ブドウ糖など最大12項目の検査が行える尿試験紙「ウロペーパー」他、各種検査用試薬

■ セグメント別売上高 — 微生物検査用試薬

培地の売上が減少したものの薬剤感受性検査用試薬が伸長

- 培地 血液培養検査用製品（導入販売）の販売契約終了等により売上減少
- 迅速検査 イムノキャッチシリーズ 肺炎球菌/レジオネラのコンボキットの販売促進
- 薬剤感受性検査 薬剤感受性検査用試薬の売上増加
MALDIバイオタイパーとの組み合わせ提案継続



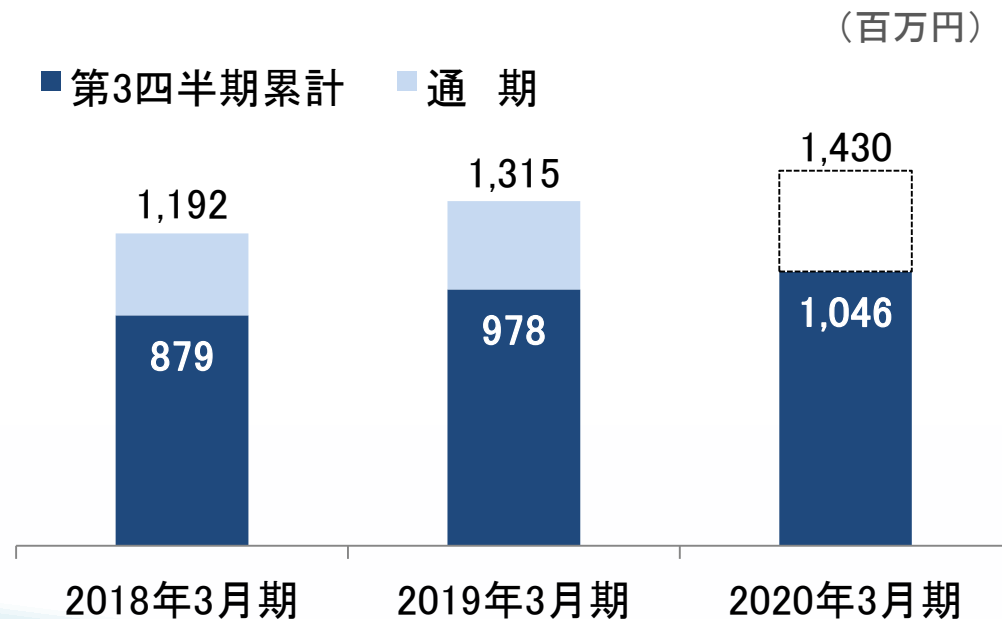
イムノキャッチ -肺炎球菌/レジオネラ ‘栄研’

細菌検査用培地、迅速検査用試薬及び薬剤感受性検査用試薬など、微生物感染症の診断・治療に有用な各種検査用試薬

■セグメント別売上高 — 遺伝子関連(装置含む)

国内販売好調により売上増加

- 国内 マイコプラズマ、百日咳菌検出試薬キットの売上が堅調に推移
- 海外 グローバルファンド申請を目的とするカメルーン、フィリピン事例の水平展開
- ライセンス 特許料収入：426百万円（前期実績：406百万円）



Loopamp百日咳菌検出試薬キットD



リアルタイム濁度測定装置 LoopampEXIA

当社独自技術LAMP法を用いた、医療、食品、環境など幅広い分野に展開する遺伝子検査関連製品 TB-LAMP(結核検査)は2016年にWHOの推奨を取得し、途上国向けに展開中

■ 海外向け売上高

(百万円)

【欧州】

UK・スペイン・ドイツ等の便潜血検査用試薬の売上増加

【北米】

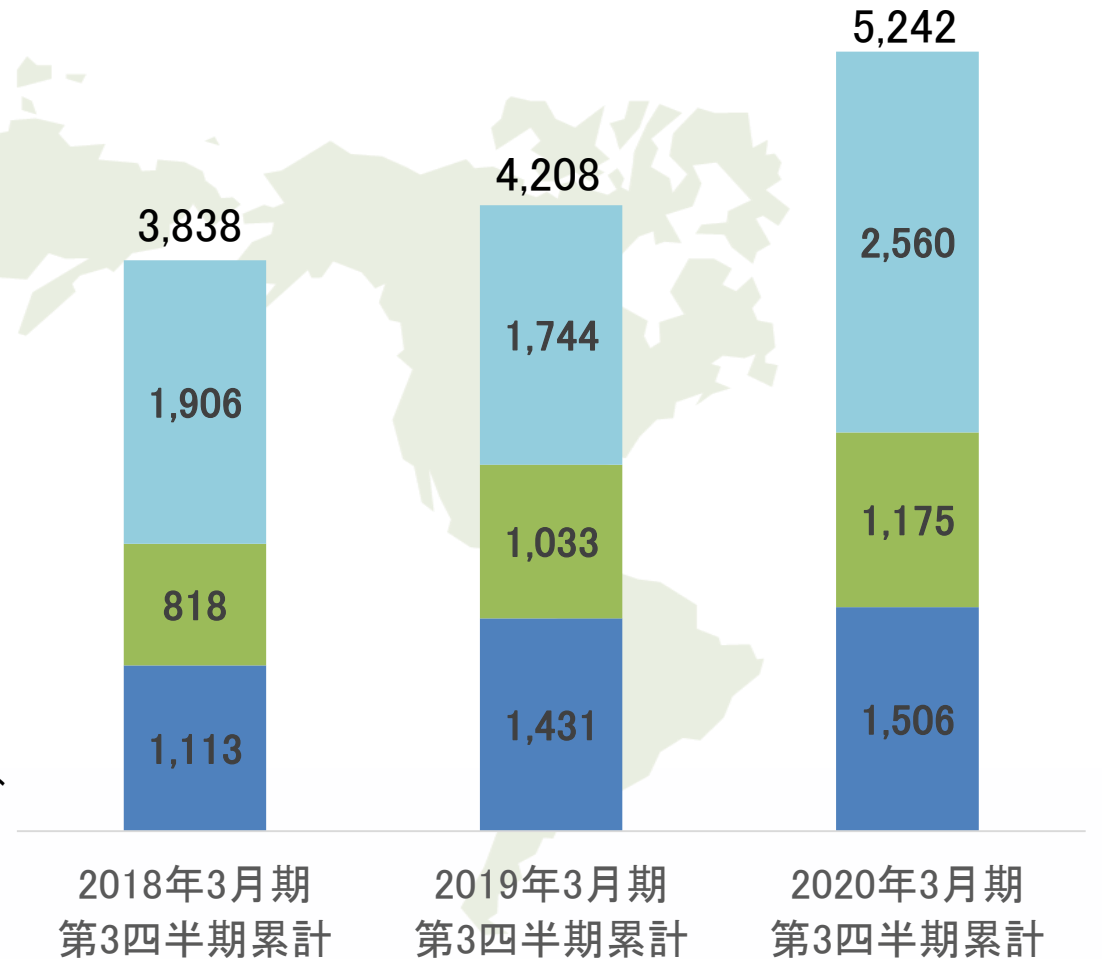
米国のLabCorp、Kaiserなど大口顧客およびカナダの便潜血検査用試薬の売上増加

【アジア・オセアニア・その他】

シスメックス(株)向けの尿検査用試薬・装置の売上増加※
オセアニア・韓国等の便潜血検査用試薬の売上増加

※海外向け尿検査用試薬・装置の売上(シスメックス(株)向け)はアジア地域に含む

■ 欧州 ■ 北米 ■ アジア・オセアニア・その他



2020年3月期 連結業績予想

通期業績予想(修正後) 1月28日に業績予想の上方修正を発表いたしました。 (百万円)

	2020年3月期		
	金額	構成比	対前期比
売上高	36,800	100%	102.9%
営業利益	4,350	11.8%	94.3%
経常利益	4,450	12.1%	95.1%
当期純利益※	3,400	9.2%	98.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

配当予想(修正後) 1月28日に期末配当予想の修正(増配)を発表いたしました。 (円)

	第2四半期末(実績)	期末	年間
	13	17	30

※「業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」 <http://www.eiken.co.jp/news/pdf/20200128-1.pdf>

■ 中期経営計画数値目標（連結）

当社は、2019年4月25日中期経営計画を公表しております。

計画初年度の当期（2020年3月期）は、海外向け売上が便潜血検査用試薬、尿検査用試薬・装置を中心に好調に推移し、国内向け売上也堅調であることから、期首予想を上回る見込みとなり、業績予想の修正を行いました。

2021年3月期も継続して業績向上が期待されることから、2021年3月期の数値目標に関しまして、見直しをいたしました。

なお、2022年3月期の数値目標は変更しておりません。

中期経営計画数値目標（連結）（2020年3月期～2022年3月期）

（百万円）

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期
	前回 発表予想	今回 修正予想	前回発表 (見直し前)	今回修正 (見直し後)	(変更なし)
売上高	35,900	36,800	37,000	37,500	38,700
海外向け売上高	6,920	7,400	7,930	8,200	9,460
海外向け売上比率(%)	19.3	20.1	21.4	21.9	24.4
営業利益	3,600	4,350	3,950	4,500	5,320
営業利益率(%)	10.0	11.8	10.7	12.0	13.7
ROE(%)	7.4	9.5	8	8.9	10

Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

